

投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 地域道路室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	地域道路室長 中村 誠 (課長補佐兼県道係長 松田 智)	内線	4362 (4376)
------	-------------------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	道路事業	事業名	事業区間	総事業費	5.0億円
		道路改築事業 (一) 檜倉山東線	朝来市山東町 喜多垣～柵木	内用地補償費	2.2億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
朝来市山東町喜多垣				平成21年度	平成24年度
事業目的			事業内容		
<p>・本路線は、地域の幹線道路であるとともに、朝来市山東支所をはじめとする公共施設や医療施設へのアクセス機能を担うなど、生活道路としても重要な役割を持つ道路である。</p> <p>・しかしながら、山東町大月から喜多垣の間は、幅員狭小で、見通しも悪く、車両のすれ違いが困難であるとともに、通学路でありながら歩道がなく、交通安全上においても危険な状態にあった。</p> <p>・このため、全長2,460mのバイパスを整備することとし、すでに 期1,640mを完成させている。本事業は 期事業に引き続き残区間のバイパス工事を完成させ、所期の目的を達成するものである。</p>			<p>道路改築事業L=820m(バイパス)</p> <p>【構造規格】3種3級(平地部)</p> <p>【計画幅員】W=6.0(10.0)m(2車線+片側歩道)</p> <p>【現況幅員】W=4.5m</p> <p>【計画交通量】1,100台/日(H42)</p> <p>【現況交通量】1,410台/日(H17交通センサス)</p> <p>【費用負担】県10/10(合併支援道路整備事業)</p>		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全・安心を確保 する道づくり		<p>・事業地周辺の各集落から朝来市山東支所や朝来梁瀬医療センター(第2次救急医療機関)へのアクセス向上を図る。</p> <p>・歩道整備により自転車・歩行者、特に通学児童、生徒の安全性を確保する。</p>			
くらしと交流を 支える道づくり		<p>・旧山東町内から朝来市中心部(旧和田山町)に向かう幹線道路として、合併後のまちづくりを支援する道路である。</p> <p>・国道427号や山東ICから「よふど温泉」などへのアクセス道路であり、地域間交流の拡大により地域の活性化を図る道路である。</p>			
(2)有効性・効率性 有効性		<p>・費用便益比：B / C = 1.1</p> <p>・地区内の通過交通と生活車両を分離することで、走行時間短縮とともに安全性と利便性が向上し有効性が高い。</p>			
代替性		<p>・当該区間は、与布土小学校があり人家連坦区間であることから、経済的かつ施工性に優位なバイパスルートを選定した。</p>			
効率性 (事業執行環境)		<p>・事業計画に対し、地元説明会を通じて地元合意を得ており、円滑な事業実施に向けた地元の協力体制は整っている。</p>			
(3)環境適合性		<p>・現道からバイパスへの交通転換により、沿道騒音の低減など生活環境を改善する。</p> <p>・歩道には透水性舗装を施工する。</p>			
(4)優先性		<p>・当該事業区間の前後は既に完成しており、早期事業着手により、合併後の新たなまちづくりを支援するとともに、地域交通の安全性・円滑性を確保する必要がある。</p>			

新規事業

当初事業

一般県道 檜倉山東線 事業スケジュール

工種	規模 (事業費)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
測量試験	用地測量 詳細設計		■			
用地・補償	A=15,000m ² N=1件		■	■	■	
本工事	L=0.82km 橋梁1橋			■	■	■

B / C 根拠

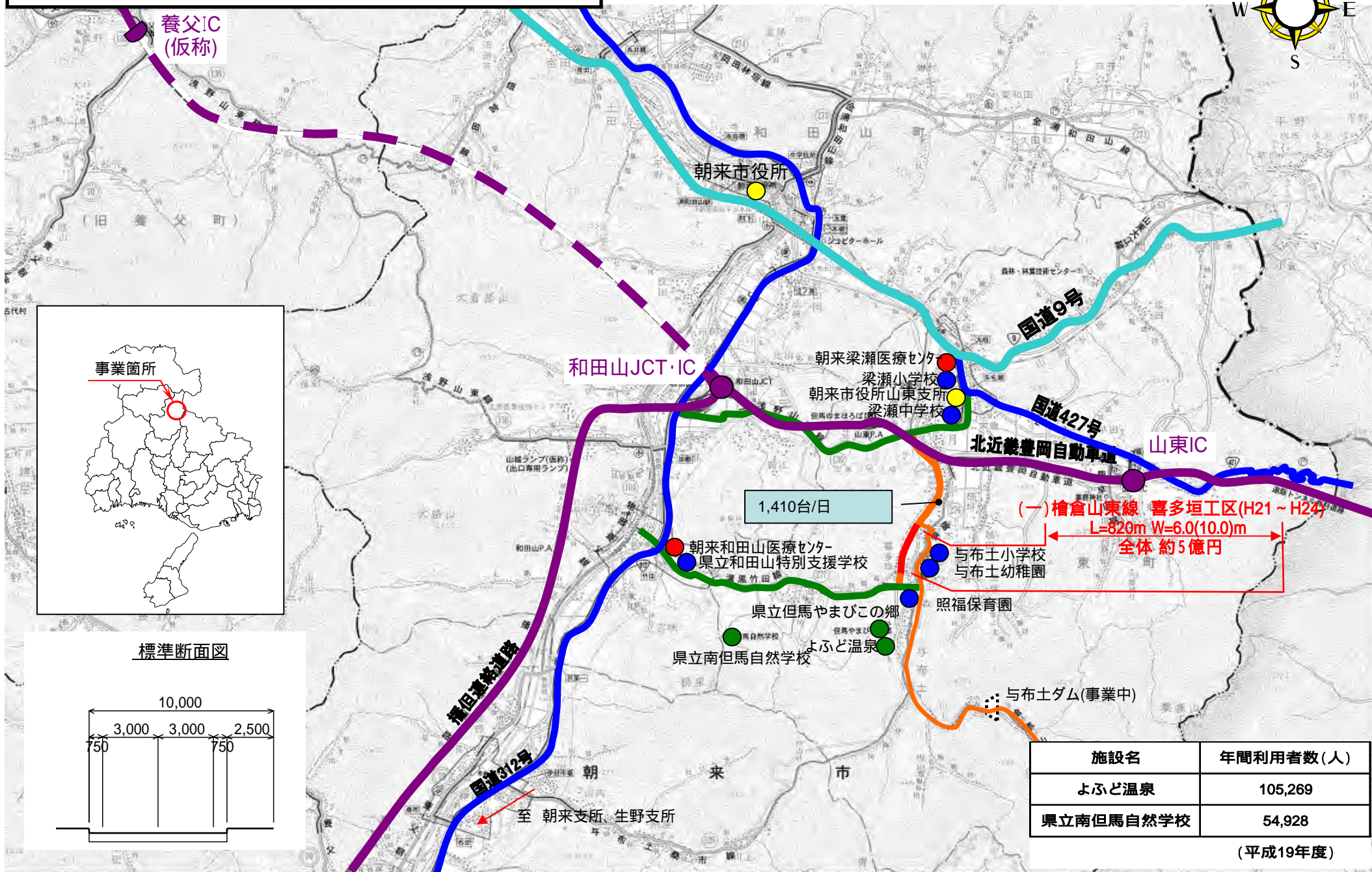
便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無し of 走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用： (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無し of 走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費： (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365日
	交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無し of 事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額： (交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位)

費用便益比(B / C)算出根拠

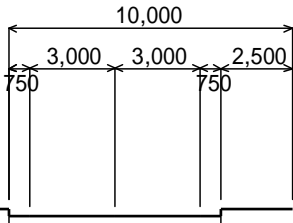
事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B / C	
		便益額 (億円)	代表的な効果	総費用 (億円)	事業費 (億円)	維持管理費 (億円)		
道路	道路改築事業 一般県道 檜倉山東線	走行時間短縮便益	4.37	時間短縮： 1.4分 供用時 ^ハ 1 ^ハ 入 交通量 1,100台/日	4.77	4.27	0.50	1.1
		走行経費減少便益	0.62					
		交通事故減少便益	0.19					
		計	5.18					

(一) 檜倉山東線 朝来市山東町喜多垣～柞木



事業箇所

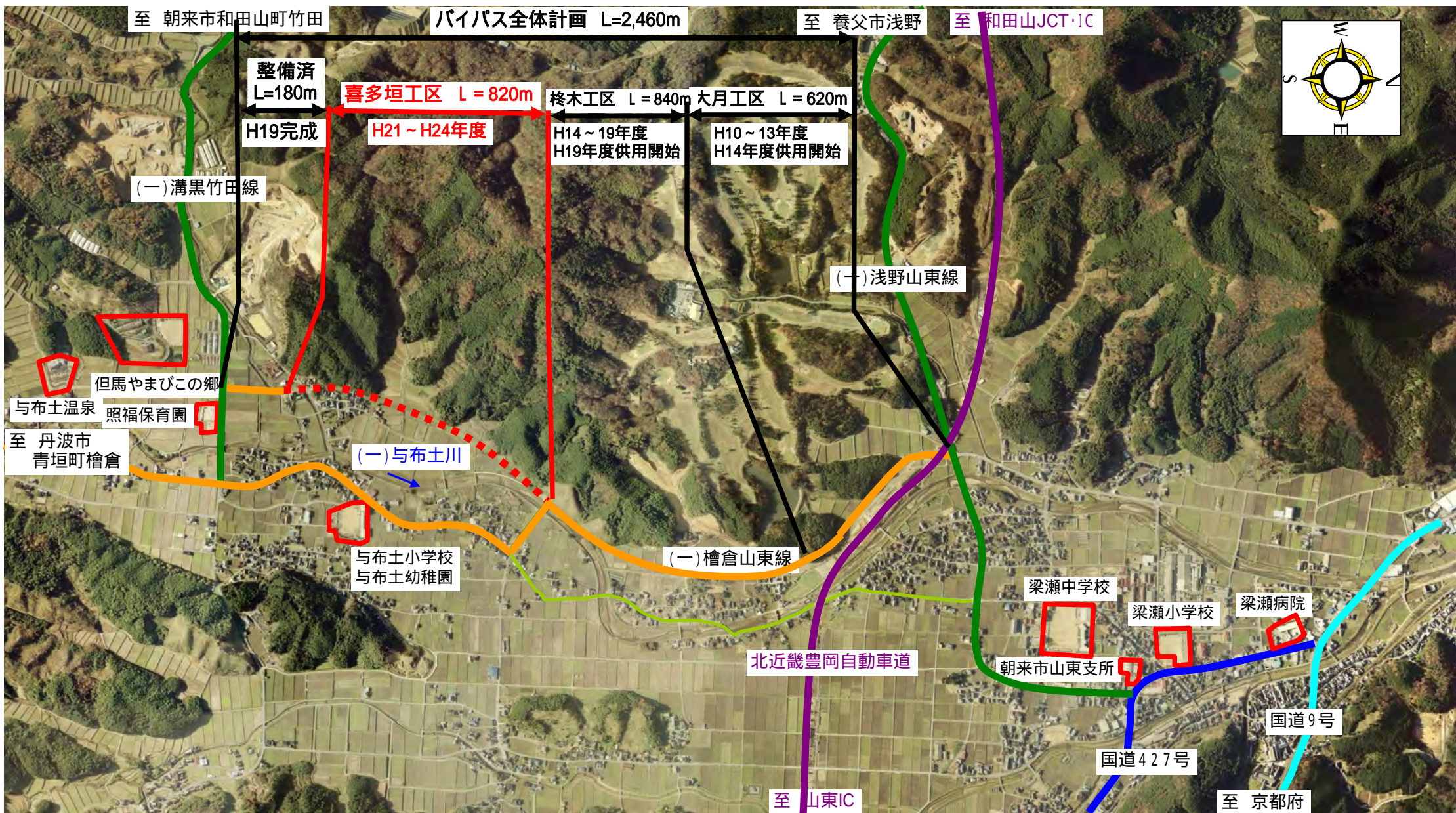
標準断面図







施設名	年間利用者数(人)
よふど温泉	105,269
県立南但馬自然学校	54,928

(平成19年度)

(一) 檜倉山東線 ルート図



(一) 檜倉山東線 人身・物損事故の発生状況(H15~H18 4ヶ年)

凡例	
	檜倉山東線
	計画ルート
	人身事故箇所
	物損事故箇所

人身・物損事故件数(H15年~H18年)
(朝来警察署調べ)

・H15.1 ~ H15.12	人身1件	物損3件
・H16.1 ~ H16.12	人身0件	物損4件
・H17.1 ~ H17.12	人身0件	物損4件
・H18.1 ~ H18.12	人身1件	物損1件

(一) 檜倉山東線 喜多垣工区
全体計画 L=0.82km

写真撮影方向

物
人
損
身
事
故
1
2
2
件
件

2件

2件

4件

2件

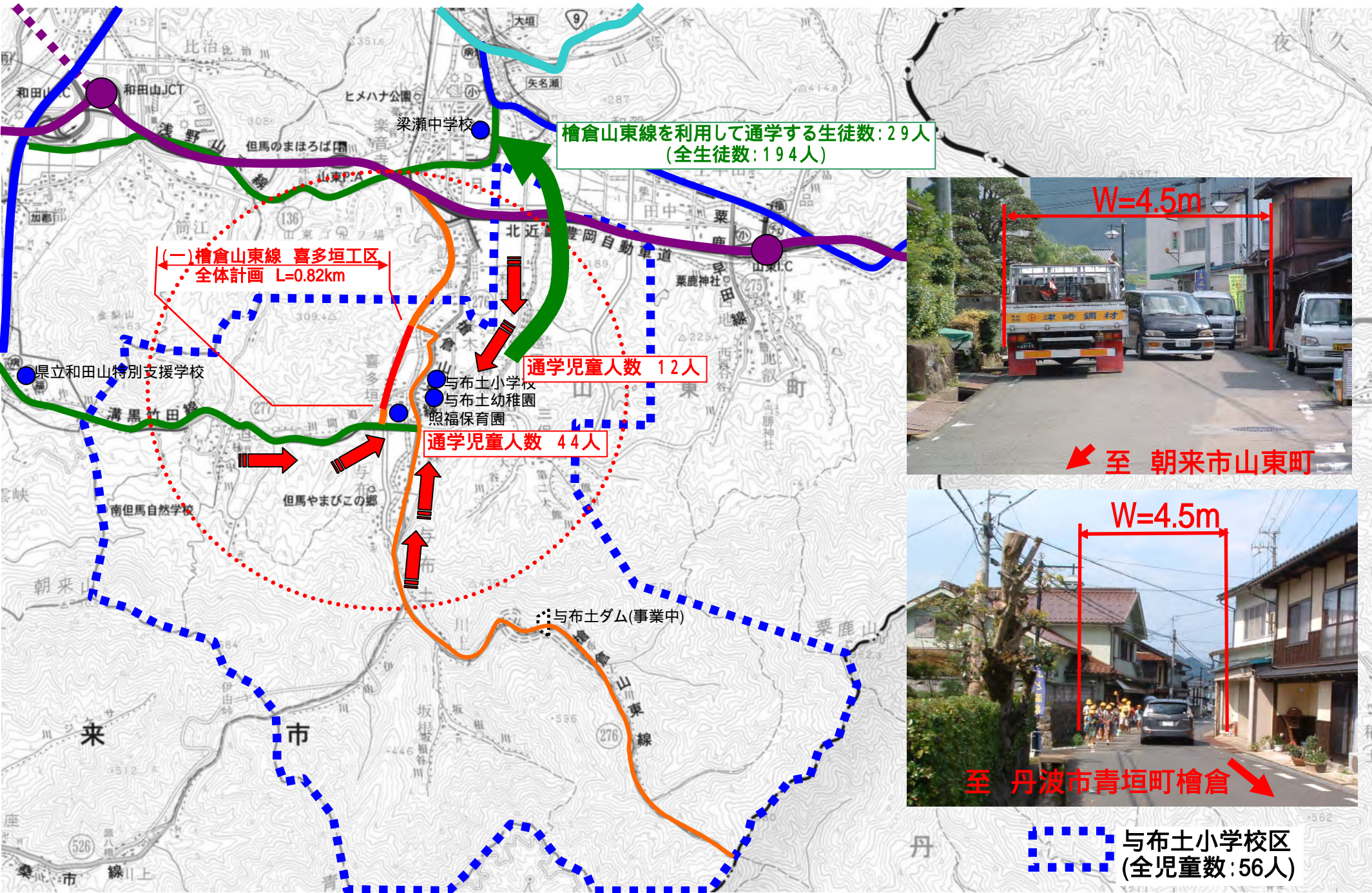
2件

1件

1件



(一) 檜倉山東線 小・中学校の通学状況



与布土小学校区
(全児童数: 56人)